MITSUBISHI

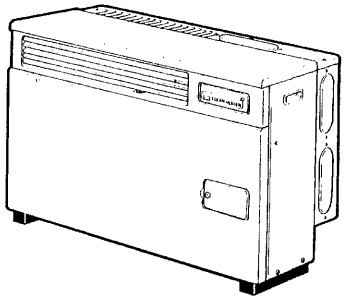
三菱〈強制給排気式ガスストーブ〉クリーンヒーター

形　名

VGB-901G（個別運転・集中管理システム運転兼用形）

取扱説明書

お客さま用



このたびは三菱クリーンヒーターをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この説明書は保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役だてください。

もくじ

各部の名称…… 1
特に注意していただきたいこと…… 2
器具の設置…… 6
使用方法
●ご使用前の準備…… 7
●運転（個別運転）…… 8
●停止（個別運転）…… 8
●集中管理システムによる運転…… 9
●室温調節…… 10
●風向きの調節…… 11
日常の点検とお手入れ…… 12
故障・異常の見分けかたと処置方法… 13
長期間使用しない場合…… 16
部品交換のしかた…… 16
仕　様…… 17
アフターサービス…… 18
定期点検…… 19
設置工事後の確認と試運転…… 20

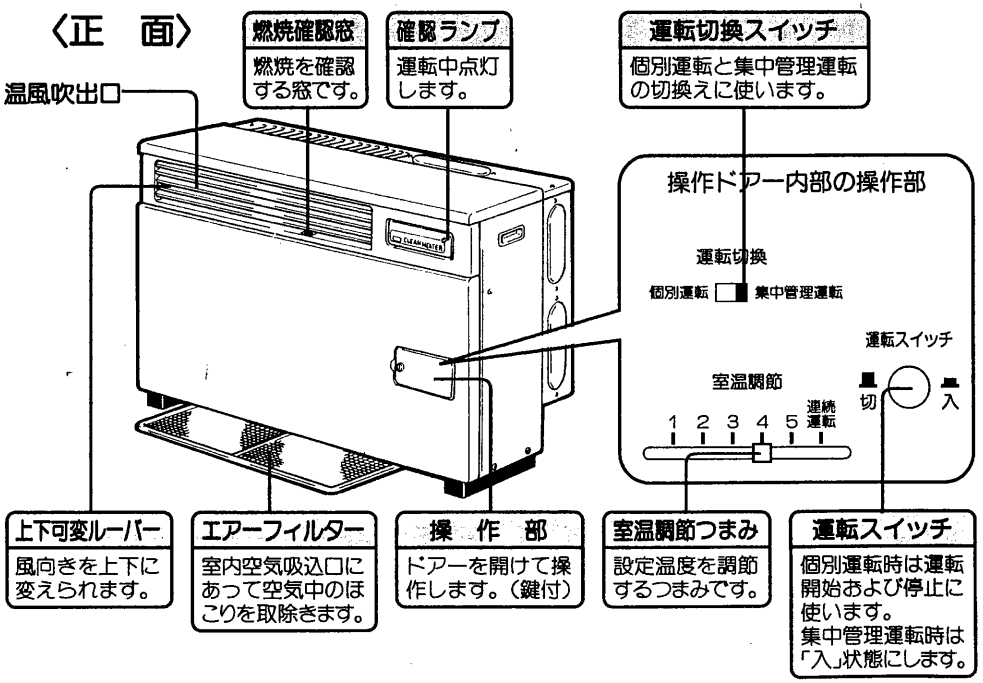
この製品は運転切換スイッチを切換えることにより個別運転と集中管理システム運転のどちらでもご使用いただけます。

9404R588HF6101

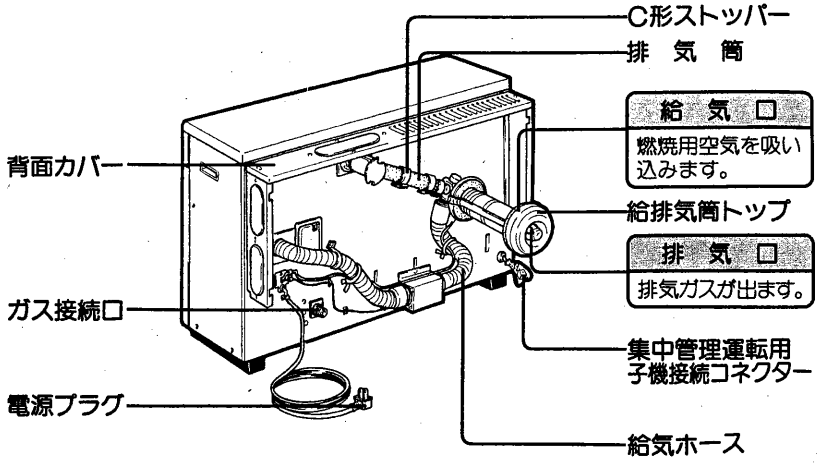
各部の名称

■外観図

〈正　面〉



〈背　面〉

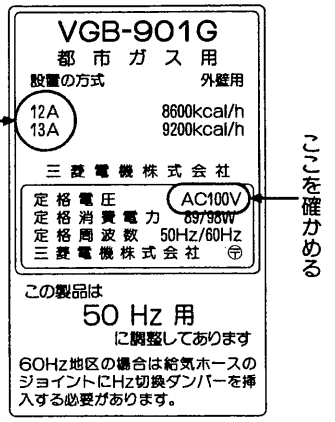


特に注意していただきたいこと

使用ガス・電源について

1

（例）



使用ガス種・電源の確認

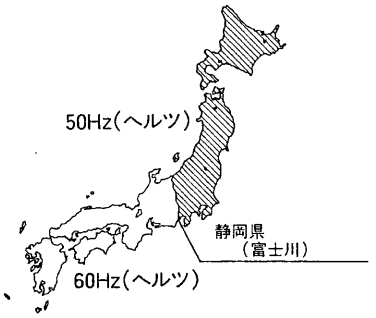
器具（銘板）に表示してあるガス種・電源（電圧・周波数）以外の使用はできません。

- ご使用のガス種が不明、または器具の表示と一致しない場合は、お買い求めの販売店、またはガス供給業者（ガス会社）へご相談ください。

ご注意！

- 器具に表示してあるガス種（ガスグループ）でも指定されたガス会社のガス以外は使用できません。

2



- 電源周波数が異なる地域へ転居する場合は、調整または改造の必要があります。
- ガスグループ・ガス会社が異なる地域へ転居される場合は、調整または改造の必要があります。

火　災　予　防

1

危険物は避けて

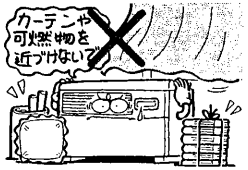
器具や給排気筒トップの周囲には危険物（ガソリン・シンナーなど引火しやすいもの）が絶対にないようにしてください。

- 火災や部品の劣化の原因となります。
- 器具から2m以内でヘアースプレーなどの引火物を使用したり、スプレー缶を温風のあたるところに放置しないでください。

特に注意していただきたいこと つづき

火災予防

2

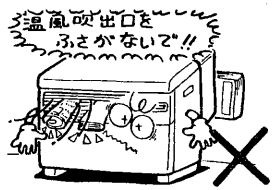


★カーテン、可燃物注意

カーテンや燃えやすいもののそばなどでは、使用しないでください。また洗たく物の乾燥に使用しないでください。

- 火災の原因になります。またカーテン・洗たく物が変色したり、器具が変形することがあります。

3



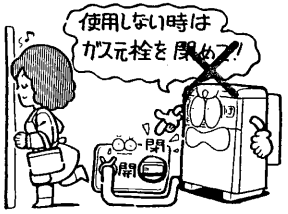
★温風吹出口をふさがないで

衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。

- 衣類、紙などでふさぐと、異常過熱や火災の原因になります。

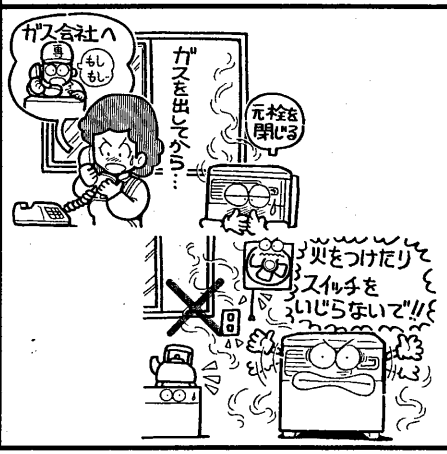
ガス事故防止

1



ガスの接続は規定の強化ガスホースまたは金属管で行われているか確認してください。不具合な場合はガス供給業者(ガス会社)にご連絡ください。
使用されないとき、外出の際には必ず部屋のガス元栓を閉めてください。

2



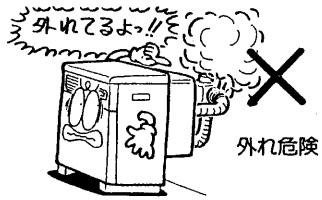
ガス漏れの点検

器具内部やガス管および接合部などからガス臭くないかときどき点検してください。

- 万一、ガス漏れに気づいたときは、部屋のガス元栓を閉じて窓や戸を開けガスを外へ出してから、お買い求めの販売店、またはガス供給業者(ガス会社)へご連絡ください。
- ガスが漏れたときは、すべての処置が終わるまで火をつけたり、器具の運転スイッチやその他の電気器具のスイッチを入・切しない、また電源プラグの抜き差しも絶対にしないでください。
  火花で引火し、爆発事故をおこすことがあります。

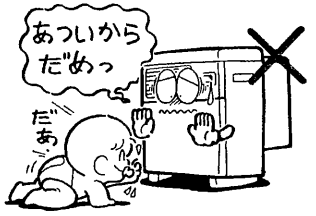
使用上の注意

1



給排気筒(管、ホース)が正しく接続されているか確認してください。
外れていると運転中に排気ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒のおそれがあり、大変危険です。

2

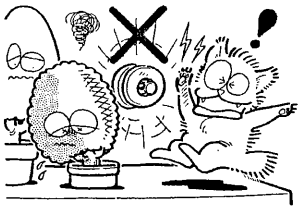


やけどに注意

運転中、温風吹出口は高温になりますので、触らないでください。
特にお子さまを器具に近づけないでください。

- グリルガード(システム部材)のご使用をおすすめします。

3



給排気筒トップに注意

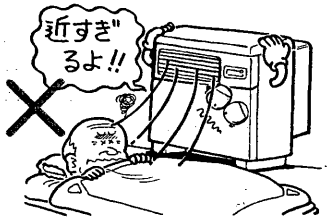
- 給排気筒トップ先端は高温です。やけどに注意してください。
- 排気ガスが出ますので、愛がん動物・植木なども置かないようにしてください。
  事故がおこったり、木が枯れたりする原因になります。

4

器具の上に腰かけたりものをのせないで

- やけどをしたり、器具の変形や給排気筒トップが外れ危険です。

5

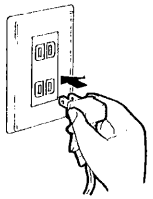
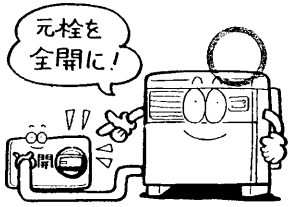
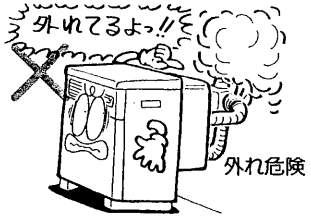
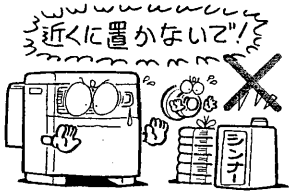
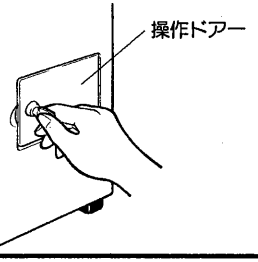


温風を長時間、直接身体にあてない

- 脱水状態になったり、低温やけどの原因になります。特に、体力のない病人・乳幼児・お年寄りには、まわりの人が注意してあげてください。

使用方法

ご使用前の準備

1		電源プラグをコンセントに差込みます。
2		部屋のガス元栓を全開にします。
3		**給気ホース・排気筒接続の確認** ●給気ホース・排気筒が正しく接続されているか確認してください。 外れていると運転中に排気ガスが漏れ大変危険です。
4		**器具周辺の確認** 器具の周辺および給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物を置かないでください。
5		**操作ドアーの鍵を開けます。**

このクリーンヒーターは個別運転と集中管理システム運転ができます。

運転 個別運転

	操作部	手順
1	運転切換スイッチ 運転切換 個別運転 集中管理運転	運転切換スイッチを「個別運転」にします。
2	運転スイッチ 切 入	運転スイッチを押して「入」にします。 確認ランプが点灯します。 点火したことを確認します。

温風がゆるやかに出始め、徐々に増加します。

停止 個別運転

	操作部	手順
3	運転スイッチ 切 入	運転スイッチを押して「切」にします。 確認ランプが消灯します。 ●温風はしばらくすると自動的に止まります。 〔部屋のガス元栓を閉めてください。〕

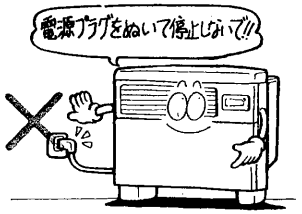
ご注意!

- ●電源プラグをコンセントより抜いたり、元電源(ブレーカー)を切ったりして運転を停止しないでください。器具の故障の原因になります。
- ●消火後、キシミ音がすることがありますが、熱交換器などが冷えるときの音で異常ではありません。
- ●個別運転中に停電になったとき、再運転する場合は運転スイッチを一旦「切」にし再度「入」にしてください。

特に注意していただきたいこと つづき

使用上の注意

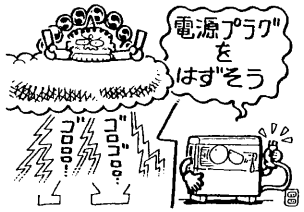
6



運転停止は電源プラグを抜いたり、元電源(ブレーカー)を切ったりしないで

- 器具が故障する原因になります。

7

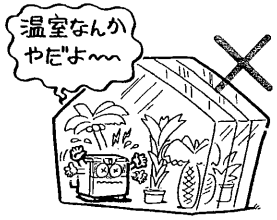


雷時の注意

雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 激しい雷の影響で器具が故障するおそれがあります。

8

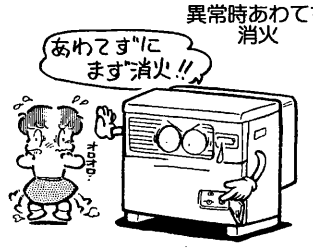


特殊な場所は避ける

器具は居室の暖房用としてつくられたものですので、乾燥室、温室、飼育室などでは絶対に使用しないでください。
また、クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。

- 化学薬品などの影響により不完全燃焼や故障の原因になります。

9



異常時にはあわてず消火
地震があったり、その他異常を感じた緊急の場合はあわてずに消火してください。

運転スイッチを「切」にし、部屋のガス元栓を閉めてください。

- 地震のあとご使用になる場合は点検してからご使用ください。(詳しくは19ページ参照)

器具の設置

お客さまご自身では設置しないでください。(事故の原因となります。)
設置工事は必ず専門家にご依頼ください。(畳替えやじゅうたんの張り替えなどで器具を移動させる場合も同じです。)

- 排気ガスは専用の給気・排気部品を使って必ず屋外に出してください。

設置場所の選定

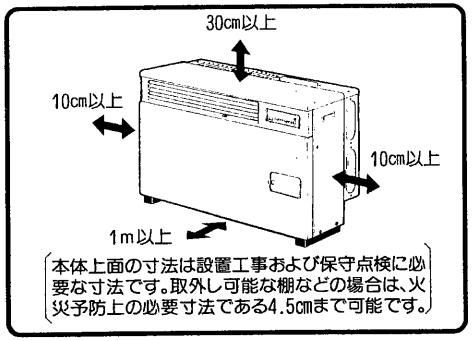
器具の設置は販売店が「ガス機器の設置基準(ガス消費機器設置基準調査委員会編)」に基づき、行っております。
設置工事が完了後、20ページを参照し、お客さまご自身で確認してください。

標準設置例(器具と周囲との距離)

器具を設置する場合は、火災予防のため「ガス機器の設置基準(ガス消費機器設置基準調査委員会編)」に定められた寸法および、エアーフィルターの清掃、定期点検、給排気回りの点検、アフターサービスを行うために必要な下記の空間寸法を必ずとってください。

ご注意!

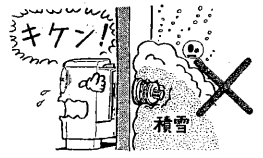
- 器具の裏面には必ず背面カバーを取付けてください。
- 背面カバーと壁との間にはすき間を開けないでください。
  (カーテンや紙などが入りますとこげたり、においなどの原因となります。)
- 部屋のガス元栓の開閉、電源プラグの抜き差しが容易にできるようにしてください。



本体上面の寸法は設置工事および保守点検に必要な寸法です。取外し可能な棚などの場合は、火災予防上の必要寸法である4.5cmまで可能です。

給排気筒トップが雪に埋れないように

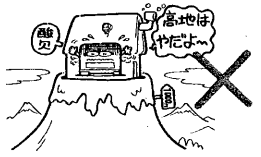
- 給排気筒トップが雪に埋もれたり、積雪で囲われたりすると
★運転できなくなったり、爆発的に点火して器具が故障することがあります。



高地での使用について

標高1500m以上の場所では使用できません。

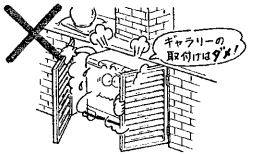
- 空気不足により運転停止したり、不完全燃焼の原因になります。



ギャラリーの取付けについて

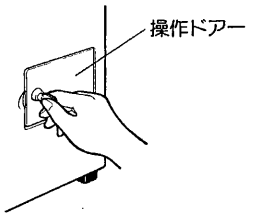
温風吹出口前方にギャラリー(格子)を取付けないでください。

- 室温調節が正しく行われないうえ、高温となり火災の原因となります。



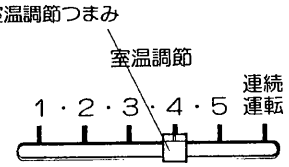
集中管理システムによる運転

集中管理システムの場合は、親機によって運転・停止されますのでその都度操作する必要がありません。
個別運転と同じ方法で室温の調節をして次の操作をしてください。

	操作部	手順
1	運転切換 個別運転 ⇔ 集中管理運転	運転切換スイッチを「集中管理運転」にします。
2	運転スイッチ 切 ○ 入	運転スイッチを押して「入」にします。
3	室温調節 1・2・3・4・5 連続運転	室温調節をします。 (10ページ参照)
4		操作ドアーの鍵を閉めます。

室温の調節

室温調節器(ルームサーモ)が室温を検知し、バーナーの燃焼(強燃焼・弱燃焼)・消火の組合わせにより、室温を自動的に設定温度に保ちます。

	操作部	手順
1	 室温調節つまみの目盛りと室温のめやす	室温調節つまみをお好みの位置にセットします。 「1」から「5」の範囲でどの位置にも無段階にセットできます。 ●「連続運転」は試運転を行うときに使用します。

室温調節つまみの目盛りと室温のめやす

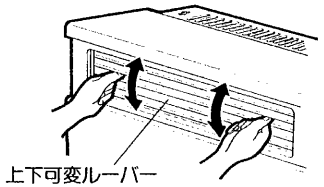
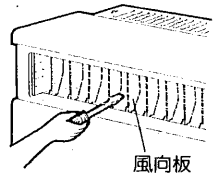
目盛り	室温のめやす
1	8℃くらい
3	20℃くらい
5	30℃くらい
連続運転	40℃以下では連続運転

ご注意！

- 室温調節つまみでセットしたときの温度は、家屋の構造、設置位置、外気温度などによって必ずしも上表の温度とは一致しませんので、あくまでもめやすと考えてください。
- 前方近くに障害物がありますと、温風がすぐにもどり室温調節器がひんぱんに作動して、暖房効果が悪くなりますので障害物を取除いてください。
- 室温調節つまみを連続運転にしても室温が40℃以上になりますと運転を停止します。
- 室温調節つまみでセットした温度より室温のほうが高い場合には運転しません。

風向きの調節

風向きは上下可変ルーバーで上・下に、風向板で左・右に調節することができます。

	操作部	手順
1		風向きを上・下に変えるには、上下可変ルーバーを上・下に動かします。
2		風向きを左右に変えるには、温風吹出口の奥の風向板を棒状のもの(ドライバーなど)で動かします。

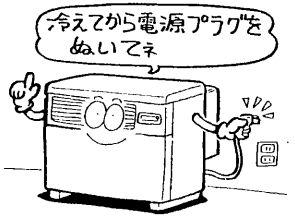
ご注意！

- 運転中は温風吹出口が熱くなりますので、風向き調節はしないでください。
- 左右の調節は3～5回が限度です。それ以上動かすと折れるおそれがあります。

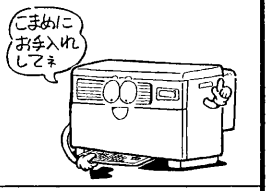
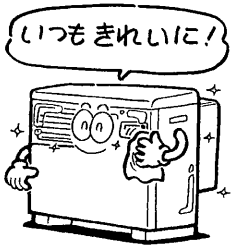
日常の点検とお手入れ

点検とお手入れのときの注意

- 必ず器具が冷えてから電源プラグをコンセントより抜き、ガス元栓を閉じて行ってください。
- お手入れの際は手袋の着用をおすすめします。



点検とお手入れの必要項目、時期、方法

時期	点検・手入れ項目	方法
シーズンはじめ	給気ホース 排気筒	背面カバー上板を外して、給気ホース・排気筒の接続箇所が外れていないか確認します。
	給排気筒トップ	室外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。
使用のたび	排気ガス	排気ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。排気ガスが漏れていると一酸化炭素中毒のおそれがあり非常に危険です。
	ガス漏れ	器具内部やガス管および接合部分などがガス臭くないか点検します。万一ガス漏れに気付いたときには、部屋のガス元栓を閉じて窓や戸を開けガスを外へ出してからお買い求めの販売店またはガス供給業者(ガス会社)へご連絡ください。
	周囲の可燃物・引火物	器具の上や周囲・給排気筒トップの周囲に可燃物、引火物がないか点検します。
1週間に1回以上	エアーフィルター	エアーフィルターを右図のように引出し、掃除機などでほこりを取り除きます。 ● 温風吹出口から風が出ていないことを確認してから行ってください。送風中に行うと器具内部にほこりが入ることがあります。 
1カ月に1回以上	器具外観	器具の汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。 ● シンナー・アルコール・ベンジンなどをお手入れに使用しないでください。 

故障・異常の見分けかたと処置方法

異常が生じた場合は、下表を参照して、お客さま自身で処置してください。

原因＼現象			確認ランプが点灯しない	点火しない	燃焼がいつのまにか止った	暖まらない	処置	参照ページ
1		電源プラグがコンセントから抜けている	●				電源プラグをコンセントに確実に差込む	7
2		停電があった			●		運転スイッチを押しなおす	8
3		LPガスボンベが空になっているまたは、ガスの元栓がしまっている		●	●		燃料屋さんに連絡するまたは、ガスの元栓を全開にする	7
4		部屋のガス元栓が全開になっていない		●	●	●	部屋のガス元栓を全開にする	7
5		温風吹出口がしゃ閉されている			●	●	温風吹出口のしゃ閉物を取除く	3
6		エアーフィルターにほこりがつまっている			●		エアーフィルターを清掃する	12
7		給排気筒トップの先端がふさがっている		●	●		給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取除く	12
8	個別運転	運転切換スイッチが「集中管理運転」になっている	●				運転切換スイッチを「個別運転」に切換える	8
8	集中管理	運転スイッチが「入」になっていない	●				運転スイッチを「入」にする	9
8	集中管理	運転切換スイッチが「個別運転」になっている	●				運転切換スイッチを「集中管理運転」に切換える	9

以上の方法で点検し処置をしてもなおらないときは、使用を中止し、お買い求めの販売店に修理依頼または、最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。

●集中管理システムでの「故障・異常の見分けかたと処置方法」は、親機に付属の取扱説明書の「故障・異常の早見表」も合わせて参照してください。

こんな症状のときは使用を中止し販売店にご連絡ください。

使用される場所や条件、または長期間の使用により、下記のような現象が見られる場合には、使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。

現象	予測される故障
運転開始しなかったり、使用途中で火が消えることがたびたびある。	部品が故障しているおそれがあります。
運転開始時や使用中に「ボーン」という大きな音がする。	機器を損傷したり、部品が故障しているおそれがあります。
排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカする。	排気ガスが漏れているおそれがあります。 ●排気ガスが室内に漏れますと、一酸化炭素中毒のおそれがあり非常に危険です。

故障・異常の見分けかたと処置方法 つづき

安全装置が作動したときの処置方法

過熱防止装置

●エアーフィルターの目づまりや温風吹出口に障害物があり、器具内部が過熱しかけたり、室温が異常に高い場合に過熱防止が作動して運転を停止します。(器具が冷えれば運転可能です。)
エアーフィルターのお手入れ(12ページ参照)または障害物を取除いてください。

停電安全装置

●運転中に停電になりますと安全装置が作動し燃焼を停止します。
★停電中は使用できません。
★再び通電しても自動的に運転しませんので、運転スイッチを押しなおしてください。

立消え安全装置

●ガス圧が低いときや、ガスの流れが一時的にしゃ断されたとき、また給排気筒トップの先端がふさがれた場合などで燃焼が停止したとき、バーナーのガス通路を閉じ、生ガス流出を防止します。
★部屋のガス元栓が全開になっているか、LPガスボンベが空になっていないか、給排気筒トップの先端がふさがっていないか確認してください。

長期間使用しない場合

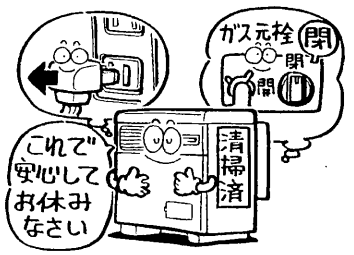
長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。

1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 器具外装、エアーフィルター、温風吹出口の掃除をしてください。(12ページ参照)

3 器具内部の清掃は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

4 器具は設置したまま保管してください。



●どうしても取外して保管するときは湿気やほこりの少ないところに保管してください。
次シーズンに設置するときには必ずお買い求めになった販売店に依頼してください。

部品交換のしかた

経年により消耗、劣化しやすい部品があります。
異常かなと思われましたら、お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にお問い合わせください。
専門技術者が修理いたします。不完全な修理は危険です。

消耗、劣化しやすい部品

項　目	内　容
使用時間により交換が必要な部品	各種パッキン、排気筒接続用Oリング(JIS B2401 4種D)、点火電極、炎検知器(フレームロッド)など
環境により劣化しやすい部品	給排気系部品、電気接点部品、ガスフィルターなど

仕　様

仕様一覧表

製品名		クリーンヒーター
形式の呼び		VGB-901G
種類	暖房方式	強制対流式
	給排気方式	密閉式(強制給排気式)
点火方式		放電点火式
定格電圧・定格周波数		単相100V・50/60Hz
消費電力		89/98W
電源コードの長さ		2m
給排気筒トップ		ステンレス製・壁穴径φ80mm
安全装置		過熱防止装置・過電流保護装置・停電安全装置・立消え安全装置
排気温度		260℃以下
外形寸法		高さ 630mm×幅 900mm×奥行 360mm(背面カバー付)
質量(本体)		41kg
ガス接続		R3/4ネジ(RC3/4-RC1/2エルボ付属)
使用ガス ガス消費量		都市ガス 6A・6B・7C・13A ……9200kcal/h 4C・5A・5B・5C・6C ……8800kcal/h 12A ……8600kcal/h 4B ……8400kcal/h LP(プロパン)ガス ……0.7kg/h
暖房のめやす	温暖地	木造22畳(37㎡)まで コンクリート31畳(51㎡)まで
	寒冷地	木造24畳(39㎡)まで コンクリート37畳(59㎡)まで

●暖房のめやすの数値は平成元年11月1日改正告示のJIS S 3031(石油燃焼機器の試験方法通則)の解説書に準拠し、(社)日本ガス石油機器工業会の統一基準によります。
●ガス消費量は標準ガスを使用したときの消費量を表し、各家庭での消費量とは一致しないことがあります。

アフターサービス

サービスを依頼される前に

取扱説明書の「故障・異常の見分けかたと処置方法」(13〜15ページ参照)に従って調べていただき、なおらないときには、次の処置をしてください。

●保証期間中は…

お買い求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って販売店が修理致します。

〈連絡していただきたい内容〉

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・形名・ガスの種類・お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  できるだけ詳しく
- 訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは…

お買い求めの販売店または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

転居や設置場所の変更

増改築や転居・移設などによる取外しおよび再設置は、お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口(連絡先は同梱の一覧表参照。)へご相談ください。

- 転居される場合は、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のガス事業者にご相談ください。
  ガスの種類・ガス会社のガスが異なる地域および電源周波数が異なる地域では調整または改造の必要があります。
- 器具を一旦外され、再使用されるときは、排気筒接続部のOリング(ゴムパッキン)はすべて交換します。

保証について

★この商品には保証書を別途添付しております。
★保証書は販売店から必ずお受けとりください。
★保証書は保証書に記載の条件、期間の無料修理をお約束するものです。
販売店名、お買い上げ日などの記入をご確認のうえ、大切に保管してください。
★保証期間はお買い上げ日から本体は1年間です。ただし、燃焼器部分は3年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

強制給排気式ガスストーブの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後7年です。

- この期間は通商産業省の指導によるものです。
- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

連絡先

お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口(連絡先は同梱の一覧表をご覧ください。)にお問い合わせください。

定期点検

強制給排気式ガスストーブ「クリーンヒーター」は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、専門技術者による定期点検を受けてください。

定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ(例えば、厨房室や製綿工場など)、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買い求めになった販売店にご相談ください。

★定期点検
定期点検は専門の技術者が、設置状態、給排気まわりの点検・安全装置及び運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検等を行います。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

★お申し込み先
お客さま→お買い求めになった販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口

★定期点検費用
定期点検の費用についてはお買い求めの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、部品交換及び修理等が必要な場合は、処置内容及び費用についてお客さまにご相談申しあげます。

定期点検の内容

	定期点検の内容	項目
1	設置状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の設置・使用状態 ●ガス漏れ ●給排気筒の接続とつまり ●給排気筒トップのつまり
2	安全装置、及び運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●運転動作の点検 ●操作部品や動く部品の働き
3	環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎検知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります)
4	製品の清掃・整備	●本体内 ●温風吹出口

地震などの災害が発生したときの点検について

★地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。
点検内容
●給排気回りの外れ、漏れの確認 ●ガス配管からの漏れ確認
★点検で異常がみつかったときや点検したのち使用しているとき排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは使用を中止して販売店に修理依頼するか、最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へ修理依頼してください。

設置工事後の確認と試運転

設置工事後の確認

設置工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。

点検箇所	点検項目	チェック結果
器具	器具の回りは必要な空間がありますか。	
	床面の不安定な場所に設置してありませんか。器具が固定してありますか。	
	ガス種・電源(電圧・周波数)は器具の表示と合っていますか。	
	60Hz地区の場合、給気ホースジョイント内部にHz切換ダンパーが入っていますか。	
	電源コードは排気筒に触れていませんか。	
給排気部品	給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	
	排気筒に給気ホースやカーテンなど、燃えやすいものが接触していませんか。	
	給排気筒の外れ・ゆるみがありませんか。	
	排気ガスは屋外へ排気されていますか。	
	給排気筒トップの取付けが屋外に向かって下り勾配になっていますか。	
	給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	
	給排気筒トップの周囲に危険物(灯油・ガソリン・プロパンガス)はありませんか。	
	給排気筒トップが必ず取付けられていますか。	
	給排気筒トップの給気穴から燃焼用空気が吸い込まれていますか。異物でふさがっていませんか。	
	給排気筒トップの排気穴より排気ガスが出ていますか。	
延長工事	集合煙突に給排気筒を取付けた工事はされていませんか。	
	床下・天井裏への給排気はしてありませんか。	
	排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	
	給気ホース・排気筒の長さは4m以内で曲がり数3箇所以内ですか。	
	排気筒の途中に水がたまるような部分はありませんか。	
	排気筒の延長立上げ寸法は2.5m以下になっていますか。	
検知リード排気筒外れ	排気筒外れ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。	
	排気筒外れ検知リードは、排気筒に接触していませんか。	

上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがあり危険です。販売店・工事店に正しい処置をご依頼ください。

試 運 転

試運転は、販売店・工事店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

運転準備

●部屋のガス元栓を全開にしてください。
●電源プラグを電源コンセント(単相100V)に確実に差込みます。

集中管理システム運転の場合

●子機番号の設定登録などが間違っていないか確認してください。親機に付属の取扱説明書「子機の登録」及び据付工事説明書の「システムチェック」を参照してください。

運　転

1．運転切換スイッチを「個別運転」にしてください。
2．電源スイッチを押して「入」にして、「確認ランプ」が点灯することを確認してください。
3．約20秒後に点火します。燃焼確認窓から確認してください。
　●設置時やシーズン初めなどは、ガス配管中に空気が入っているため、1～2回の操作では点火しないことがあります。この場合は点火操作を繰り返えしてください。
　それでも点火しない場合は13ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」をお読みください。
　●室温が30℃以上ある場合に試運転するときは、「室温調節つまみ」を「連続運転」の位置にしてください。

集中管理システム運転の場合

4．ストーブの動作確認後、運転切換スイッチを「集中管理運転」に切換えてください。
5．親機による運転操作は、親機に付属の取扱説明書「親機の運転」に従ってください。

■初期運転時の異常現象
●初期運転時、ボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。
●温風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためで異常ではありません。部屋の換気をしながらご使用ください。

■正常運転の目安
●正常運転の目安として13ページのような現象がないことを確認ください。

愛情点検

★長年ご使用のクリーンヒーターの点検を！

●クリーンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。

●排気パイプがはずれている。
●臭いがしたり、目がチカチカする。
●本体後部の壁がススで汚れている。
●燃焼確認窓がススで汚れて炎が見えない。
●点火しない。使用中炎がたびたび消える。
●運転中に「ボーン」という大きな音がする。
●その他の異常・故障がある。

使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

形　　名	VGB-901G
お買い上げ年月日	
お買い上げ店名 （住　　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿＿＿

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111